



道後商店街の魅力語る三好さん

浴衣で気軽に「コンパクトな商店街」道後商店街は道後温泉本館から道後温泉駅前間に約60の店舗が一字に並んで営業し、狭い範囲でコンパク

「おもてなし」の「寛情」で温泉地らしく「温い心」のおもてなしをすることお私たちがとって最大のおもてなし。それに対する強い気持ちや覚悟を「志」として表しています。現在「道後温泉誇れるまちづくり推進委員会」を中心に、若い人たちが積極的に参加しながら地域全体で道後の活性化に



商店街に掲出された絵手紙

「絵手紙」でおもてなし取り組んでいます。

身の小池邦夫さんと協力し、絵手紙に書き記した小池先生のご話をパネルにして、商店街に掲出してほ

ます。お越しいただいた皆さまを感動させ、元気づける「ことば」でのおもてなし。「絵手紙の源泉地」として新たな道後の魅力発信につながることを期待しています。

地域・市民みんなで道後の魅力課題を共有したい



道後商店街振興組合 理事長 三好 隆さん

おもてなしスポット 道後アート2015



現在開催中の「蛸川実花×道後温泉道後アート2015」では、蛸川さんが手がけた浴衣の貸し出しや、作品展示が道後地域で展開されています。

おもてなしスポット まつやま観光キッズ



地元湯築・道後小学校5・6年生を毎年「まつやま観光キッズ」に任命し、手作りのティッシュを配りながら観光客をおもてなしします。 ※今後の活動予定…10月17日(土)、11月14日(土)。いずれも13時~16時30分

「真心」をまっすぐ、自然に相手に向けることが「おもてなし」だと感じました。「おせつたい」の文化に育まれた松山の人たちが持つ「おもてなしの心」は全国に誇れる宝。松山を訪れた皆さまに感謝、歓迎の気持ちを伝えることで、「松山にまた来たい」と思っていたら、それが地域の活性化につながると思います。

私たちが、大好きな松山で市民の皆さんと一緒に、笑顔で温かいおもてなしをしていきたいです。



特集 松山が誇る「おもてなしの心」 おもてなし日本一のまち松山

私たちが聞いてきました

瀬戸内の穏やかな気候に包まれ、松山城、道後温泉などの貴重な資源、そして遍路文化が育んだ「おもてなしの心」が息づくまち松山。平成29年の愛媛国体や、国が外国人観光客に提案するルートとして「京都~広島~松山」が「新ゴールデンルート」に選定されるなど、国内外から多くの人々が訪れる中、おもてなしに取り組む皆さんを紹介します。

おもてなしスポット 松山城ロープウェイ



トリップアドバイザー「2015年エクセレンス認証」を受賞し、サービス面でも高い評価を受けました。伊予弁によるアナウンスも魅力。

おもてなしスポット ポンジュース蛇口



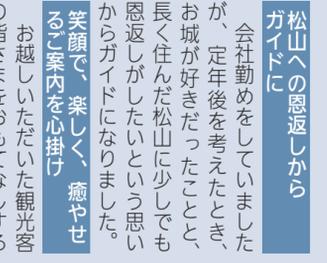
ロープウェイ駅舎内に平成24年3月に設置されたポンジュース蛇口モニュメント前で月3回程度、松山城マスコットキャラクター「よしあきくん」が出迎え、記念撮影会を開催しています。 ※開催日の詳細は松山城総合事務所 ☎921-4873へ



松山城への熱い想いを込めてガイドする高須賀さん

おもてなしスポット 家族を連れて再びお越しください

以前企業研修でご案内した方が、後日ご家族を連れて再びお越しになり、ガイド役に私を指名していただいたことは大変うれしかったです。 家族を連れて再びお越しください。以前企業研修でご案内した方が、後日ご家族を連れて再びお越しになり、ガイド役に私を指名していただいたことは大変うれしかったです。



松山への恩返しからガイドに 会社勤めをしていましたが、定年後を考えたとき、お城が好きだったこと、長く住んだ松山に少しでも恩返ししたいという思いからガイドになりました。

おもてなしスポット 市民みんなでおもてなし

市民みんなでおもてなしすることが観光振興に大きく貢献しています。観光振興は行政だけではなく、商店街や市民が心を合わせ知恵を出し合っ

現存12天守の一つで、松山のシンボルである松山城。全国のお城50カ所以上をはじめ、海外の城などへも行った経験を持ち、松山城への強い想いを抱きながら観光客をおもてなしする、松山観光ボランティアガイドの高須賀賢さんにお話を伺いました。

松山への恩返しからガイドに 会社勤めをしていましたが、定年後を考えたとき、お城が好きだったこと、長く住んだ松山に少しでも恩返ししたいという思いからガイドになりました。

松山観光ボランティアガイド 高須賀 賢さん



松山観光ボランティアガイド 高須賀 賢さん

市内に点在する新たなおもてなしスポット

コンビニでおもてなし



市内遍路道沿いなどのサークルK10店舗を「松山おもてなしコンビニ」に認定、休憩所やサイクルポートなどが利用できます。

ATMが伊予弁でおもてなし



「ようおいでなまし(いらっやいませ)」「だんだん、またおいでんか(ありがとうございませ)、またお越しください」と、伊予弁でアナウンスするユニークなATMを市内のファミリーマートに設置。

◆大学生が作成した遍路マップを設置



松山大学Museのメンバーが遍路マップを作成、松山おもてなしコンビニに設置しています。

自販機も伊予弁でおもてなし



ガイドドリンコ(株)の協力で、松山城など市内に8カ所に設置。自販機から聞こえるほのぼの伊予弁は44パターン。

自然に根付く「おせつたい」の心

「お遍路さんへのおもてなし」

四国霊場八十八カ所のうち、四国の自治体では最多の八ヶヶを擁する松山市。三坂峠から遍路道を歩いて約1時間の旧遍路宿「坂本屋」では、約10年前に地元住民や有志などにより再生され、お遍路さんへの「おせつたい」活動を行っています。今回、活動に取り組む二人にお話を伺いました。

おせつたいについて笑顔で語る 船田さんと田中さん

たいと思い、坂本屋での活動に参加しました。お遍路さんをお茶やお菓子でもてなし、道中での話題などで盛り上がりませ。中には2時間くらい休まれる方もいます。

「自然と身に付いた「おせつたい」」

船田さん「おせつたい」をしなさいと誰かから言われたわけでもなく、親がしているのを見て自然と身に付いたと思います。子どもが野宿しても困らないよう、お米を渡していただき、県外の方は知らない人から湯茶をもらうことに驚き、感動で涙を流す人もいます。

田中さん「ある狭い橋で、中学生が反対側から渡ってくるお遍路さんのために道を空けて待っていたところを見ました。子どもたちにも自然とお遍路さんに対するおせつたいの心が芽生えていると思います。」

坂本屋の活動は、人と人の心をつなぐ場

船田さん「お遍路さんから道中での出来事などを聞くことと私自身も感動し、元気をもらっています。また坂本屋の活動にも、地域の人や大学生が参加してくれています。そういったコミュニケーションを通して、人と人の心をつなぐ場としてこれからも活動していきたいです。」

お遍路さんとふれあう

船田 トシコさん(右) 田中 信也さん(左)